

はままつWell-Beingアワード2026 応募申込書

【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU



2026年●●月●●日

企業又は団体名：XXXXXX（変更してください）

幸福感向上のロジックツリー 記載例

※記載例のため、No.7～9は省略しています

- ・地域幸福度（Well-Being）指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を可視化する指標として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（以下 SCI-Japan）が作成・開発した Liveable Well-Being City 指標® の別称です。
- ・Liveable Well Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
1	取組やサービスの名称	(事業・プロジェクト単位を基本として記載) 在宅勤務支援サービス 「幸福感向上のロジックツリー」へ転記
2	取組やサービスの分野	(【別紙1】を参考に、「分野指標」から該当するもの【別紙1参照】を記載) 主：こどもを生み育てる環境、副：経済活動、地域への愛着 ※【別紙1】から分野を選んで記載してください。該当する分野が複数ある場合は、1つを「主：」、その他を「副：」として、記載してください。
3	取組やサービスの対象・ターゲット	(例) 子育て中の親 子育て中の親 「幸福感向上のロジックツリー」へ転記
4	取組やサービスの内容	(活動年数、頻度、対象地域、対象人数等を使ってできるだけ具体的に記載) 働く子育て中の親をターゲットとした在宅勤務支援サービス ※架空のサービスです。 末尾の「幸福感向上のロジックツリー 記載例」のため、概要のみ記載しています。 応募いただく際は、できるだけ具体的に記載してください。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
5	対象・ターゲットの 幸福感向上のストーリー	（取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか、仮説を立てて記載） ※末尾にある様式「幸福感向上のロジックツリー」を作成し、幸福感向上の仮説を補足してください。 ※「<u>幸福感向上のロジックツリー</u>」に絡めて、取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか記載してください。
6	地域への波及効果	（対象・ターゲットの幸福感向上により、地域全体の幸福感へどのように波及していくか記載）

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU



<幸福感向上のロジックツリー>

ターゲット：子育て中の親

地域

個人／家庭

Well-Being
(幸福感)

地域住民のWell-being

子育て中の親のWell-being

心の変化・状態

精神的に健康な
状態である

子どもたちが
いきいきと暮らせる

行動の変化

自分のペースで
仕事ができる

平日のゆとり時間
(読書・映画鑑賞)

家族と
過ごす時間

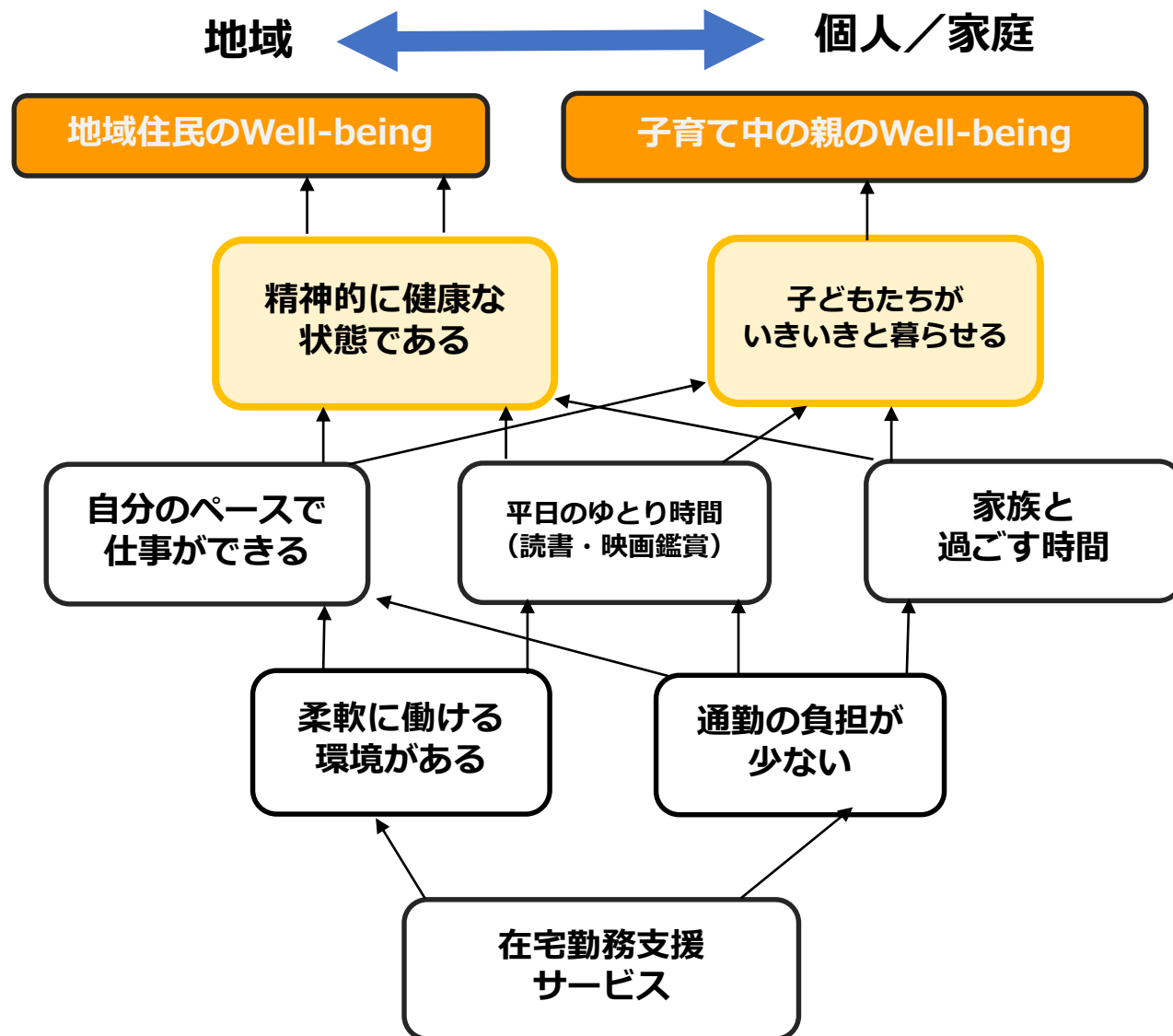
作られる・
変化する環境

柔軟に働ける
環境がある

通勤の負担が
少ない

取組／サービス

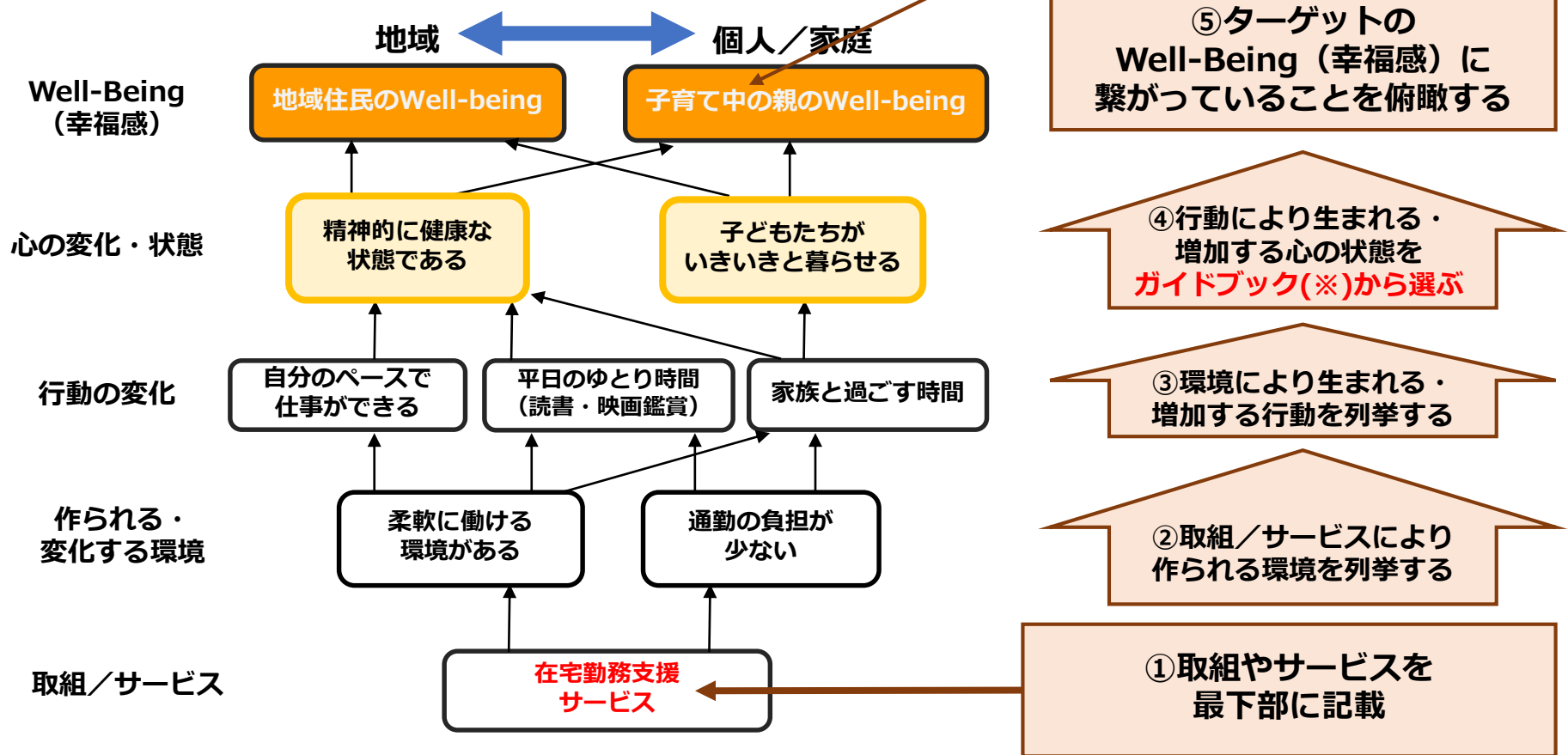
在宅勤務支援
サービス



応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

<幸福感向上のロジックツリー>

ターゲット：子育て中の親



(※) ガイドブック…

デジタル庁のホームページ(<https://well-being.digital.go.jp/guide/>)にて公開されている**地域幸福度 (Well-Being) 指標利活用ガイドブック**を指しています。

P.25の「主観(ウェルビーイング)評価指標」のうち、「生活環境」、「地域の人間関係」、「自分らしい行き方」から指標を選んで記載することを基本としています。なお、該当するものがなければ任意で心の状態を記載します。